

水道水におけるpH値について

○pH値

(水道法より)水質基準値 5.8 以上 8.6 以下

水の基本的な指標の一つであり、酸性・中性・アルカリ性を示すものです。

pH7を中性とし、7より値が小さくなれば酸性が強く、値が大きくなればアルカリ性が強くなります。

平成30年度 水質検査結果

給水栓	pH値(最高)	pH値(最低)	pH値(平均)	検査回数
上水道管理センター	7.4	7.1	7.2	12
高根児童遊園	7.4	7.0	7.2	12
三ツ瀨原団地児童遊園	7.3	7.1	7.2	12
エンゼル中央児童遊園	7.4	7.0	7.2	12
大山中継ポンプ場	7.7	7.1	7.5	12
沢渡児童遊園	7.5	7.0	7.3	12
春日寺東児童遊園	7.6	7.1	7.4	12

7.3 (市内平均)

上記は小牧市の委託業者による定期水質検査の結果です。

原水の地下水は二酸化炭素が溶け込んでいるためpH値は6付近であるが、空気を当てるエアレーション処理により、pH値はより中性に近づき、その後受水した県水と混合し配水します。

平成30年度の市内給水栓におけるpH値の平均は7.3でした。

pH値を中性に近づけることで、おいしい水にするのはもちろん、水道管の腐食対策にもなります。各水源地においも水質計器によるpH値の常時監視を行い安全な水道水を供給しております。